

平成22年8月

日本赤十字社臨床工学技士会会員の皆様へ

日本赤十字社臨床工学技士会

会長 齋藤 郁郎

共同購入事業の提案

日本赤十字社臨床工学技士会は、安全・業務量減少・経営寄与できる医療機器に付随する医療材料に関して、スケールメリットを活かした共同購入を検討しております。

【透析標準化回路】

現在 800 種類以上の血液回路が存在する。各社メーカーもその各パーツの組み合わせはすべて手作業であり煩雑を極め、またその種類の数だけ在庫ストックに経費をかけている。

今回、日本赤十字社臨床工学技士会では日本臨床工学技士会と日本透析医学会が推奨する安全且つ病院経営に貢献できる「透析標準化回路」を、日本赤十字社臨床工学技士会として本社と連携し事業展開を行うことを決定しました。

標準化回路は6月に技士会からお送りした、第二回日本赤十字社臨床工学技士会総会議事録に記載されている8施設の共同作成による回路になっております。標準化回路は前述したように日本臨床工学技士会と日本透析医学会が推奨するガイドラインに沿って作成されたものであり、どの施設でも使用できるものとなっております。

この標準化回路にご賛同いただくことで、病院側には、コストダウンと安全性の向上の面で貢献できる可能性が生まれるかと思えます。各施設の担当者の皆様におかれましては、この標準化回路をご検討頂きまして、多くの施設のご賛同を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

標準化回路についての詳細またはサンプル等のお問い合わせ先

横浜市立みなと赤十字病院 医療技術部 皆川

TEL 045-628-6100 (4435)

minagawa.me@yokohama.jrc.or.jp

(9月中旬に、日本赤十字社臨床工学技士会の各施設長宛てに回路図と案内およびアンケートを配布いたします。皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます)